

熊大通信

KUMADAI TSUSHIN

Apr.2004

Vol.12

特別企画

新たなる

大学の始まり
（法人化初年度を迎えて）

特集

水

～熊本の地下水が語るもの～



熊本大学は、4つのことに全力を投注します！

Upgrade 未来を生き抜く人材の養成
Unique 新たな知識の創造
Union 地域連携と地域貢献
Universal 留学生教育と国際貢献

CONTENTS

〈目次〉

新たな大学の始まり

～法人化初年度を迎えて～

熊本大学長
崎元達郎



P.1

P.1

知と社会 Vol.12



～熊本の地下水が語るもの～



P.5

P.5

熊本大学に聞いてみたい!!

～理学科になるとどうなるの?～



P.10

P.10

熊大群像

「日本人の心に響く和太鼓のリズム」
熊本大学教育学部音楽科教授 吉永 誠吾



P.12

P.12

OB・OG訪問

「考古学の面白さを多くの人に伝えたい。」
熊本市立熊本博物館 美濃口 紀子さん



P.14

P.14

国際交流事情 ～国際総合大学としての熊本大学～

～母国・コスタリカに肝移植チームを作りたい!～
コスタリカ共和国出身 マヌエル・エンリケ・ゼレドン・ラミレスさん



P.14

P.16

熊大INFORMATION

P.16

P.18



個々の国立大学法人がそれぞれの国立大学を設置します。

これにより、大学の裁量と責任を

新たな大学の始まり

～法人化初年度を迎えて～

学長は教学の長であるとともに法人の長でもあります。また、教職員の任命権が大臣

拡大して、主体的・機動的運営を可能にすることです。国立大学ですからあくまで国から必要な財源措置(人、金、建物等)を受けますが、全ての国立学校がひとつつの財布で扱われた今までの国立学校特別会計と違つて熊本大学として個別の予算となります。また、特許等の知的財産の帰属も法人格を有するが故に国ではなく法人に帰属されることになります。

から学長に移管される等、法律上は、学長の権限と責任が大きくなります。これは、民間的な発想を参考にしながら、学長がリーダーシップを發揮し、大学自らの責任で機動的な意志決定が可能となる旨です。すなわち、学長にはトップダウンではなくトップマネージメントが期待されているわけで、研究の自由を守り質の高い教育と高度な研究を保証するためにリーダーシップが発揮されるべきでしょう。一方で、訴訟が起これば訴えられるのは学長ですし、業績不振等の場

はじめに

本年4月1日をもって、本学は、他の88の国立大学(2短大を含む)と同じく法人化し、「国立大学法人熊本大学」として新しくスタートしました。国立大学法人法に規定される法人制度の概要と本学の対応、特に何が変わるか、何が変わらねばならないかについて法人化後の熊本大学を紹介したいと思います。





熊本大学長
崎元達郎

てに関係するので理事全員で考えることにしました。法務担当の理事を置いたのは一つの特長かもしません。例えば医療事故の裁判が発生した場合、今までには、すべて、法務省に一手に引き受けていたが、ただいたわけですが、法人化後は、すべて、本学が、訴訟維持スメントや特許等知的財産権に関して、法律上の争い事が発生した場合はこれらのことと総括し、指揮するのが法務担当理事です。また、理事とは別の役員として、業務監査を行う監事（2名）がありますが、ここには、ハーバード大学MBAの学位を持ち大手銀行取締役経験のある高橋誠一氏（常勤）と、地元の公認会計士として豊富な経験と実績をお持ちの石見敏行氏（非常勤）をお願いしました。これら二人の方から経営に関するご指導も得られるものと考えています。

大

学毎に定められた数の理事で構成される役員会が議決機関になります。これは機動的意志決定を可能にする制度設計のひとつです。本学では、役員会で審議する事項の原案は、理事や学内からの提案以外に、学長特別補佐や幹部職員で構成される総合企画本部（新設）において作成します。

本学では、理事としてここに紹介する六人の方々にお願いしました。経営担当理事を置く大学もありますが、本学では、経営はすべ

役

員会の他に経営協議会と教育研究評議会の二つの審議機関が設けられます。

議結果を踏まえつ重要事項については、役員会の議決を経ることで、機動的な意志決定が確保される仕組みとなっています。また、経営協議会は、委員の半数以上を学外の有識者で構成することが定められています。これは、国民・社会の意見を反映させ、民間的発想の大運営に反映させるためです。本学では、今までの運営諮問会議メンバー

員にお願いしています。

本学では、両審議機関以外に、部局長等連絡調整会議を設け、全学的に戦略のための会議と実施本部（会議）を設けて、これらの会議の構成員である部局長、評議員が施策を審議・実行する体制を整えています。

職員は、国家公務員でなくなりました。これにより、

理事の紹介



平山忠一
目標計画・評価・情報・広報担当
(副学長)



小野友道
研究・大学改革・社会貢献担当
(副学長)



足立啓二
教育・学生担当
(副学長)



野口敏夫
法務担当
(非常勤・弁護士)



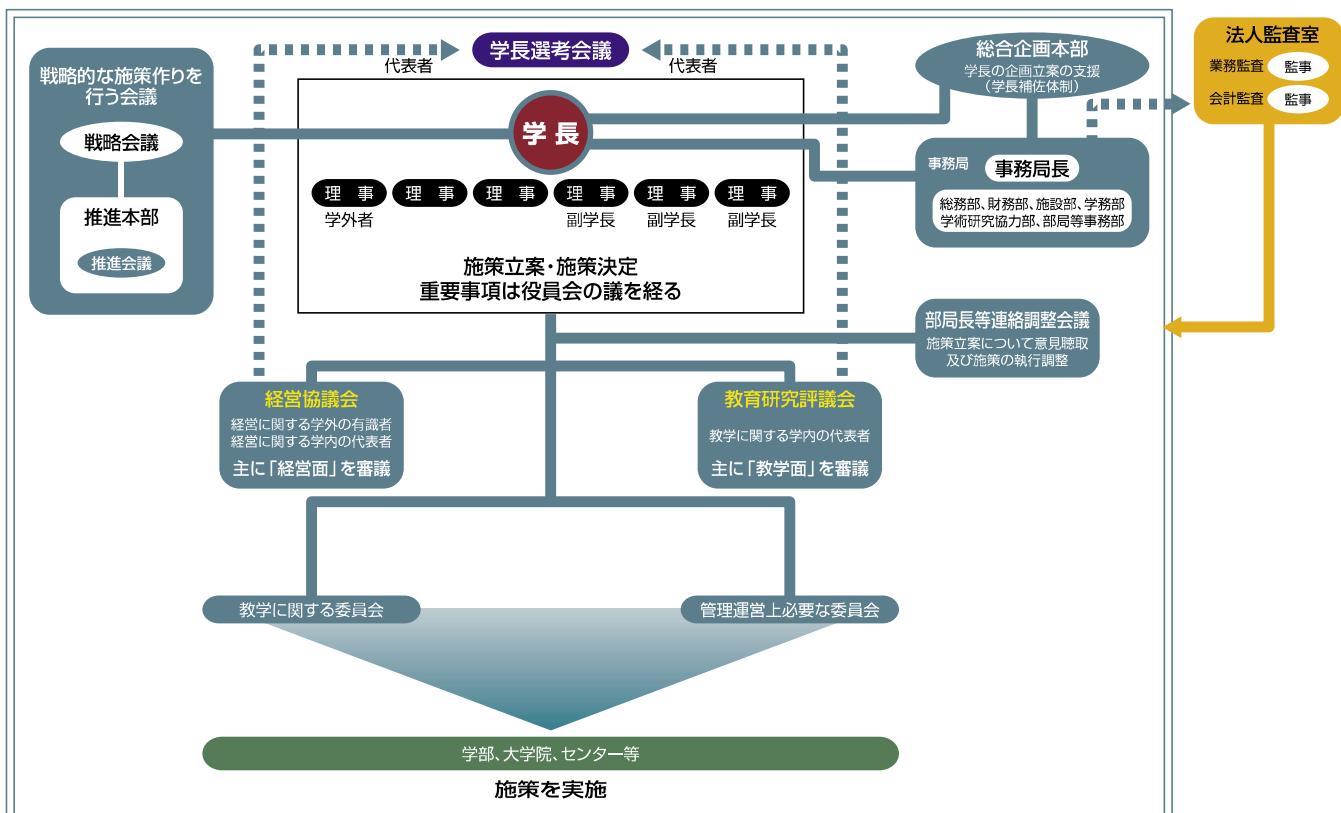
長木正治
財務・施設担当
(事務局長)



大迫靖雄
人事・労務担当

Keiji Adachi
Tomomichi Ono
足立啓二
Masaharu Chouki
Toshio Noguchi
野口敏夫
長木正治
Yasuo Ohsako

国立大学法人熊本大学の管理運営体制概念図



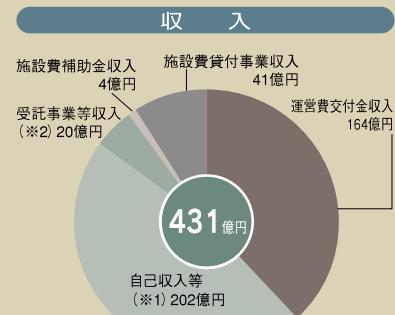
第 三者機関である国立大学法人評価委員会が、大学評価、学位授与機構等の評価も参考にして、各大学の中期目標・中期計画の達成度や経営面も含めて各大学毎の業績全体を総合評価します。これは、年度毎と6年の目標計画期間の期末に事後チェック方式で実施されますが、この評価結果は次期の目標計画期間の運営費交付

柔軟で弾力的な雇用・給与・勤務形態の設定や、専門的知識・技能などを重視した教職員の採用が可能になるとされています。しかしながら、法人への移行に際しては、従来の給与や身分を継承することになりますので、平成16年度については、大きな変化はありません。しかし、今後は、職務に対するインセンティブを高めるために能力・業績に応じた給与体系の導入を含めた種々の工夫が必要だと考えています。また、当然ながら、国家公務員法や教育公務員特例法に代わって、労働基準法等が適用されますので、黒髪、本庄大江、病院、京町の四つの事業場毎の過半数組合(病院のみ)や過半数代表の方々の意見を聞いて就業規則等を定めることになります。

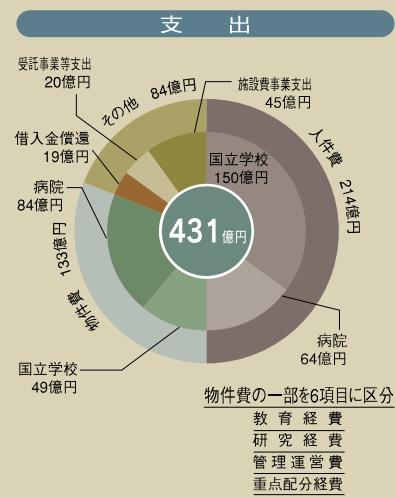
金等の資源配分に反映されることになります。中期目標は、本学が今後の六年間で達成すべき目標を明らかにしたもので、教育研究の質の向上、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己評価や情報発信等の事項があります。この目標を達成するための具体策が中期計画です。この意味で中期目標・中期計画は、国に対する契約の側面と国民・社会に対する公約の側面を有しています。

本学も素案を昨年の9月に提出し、評価委員会や本学の諮問会議の意見を参考に見直しを行いこの4月に提出しました。内容については、ホームページ等で公開します。考えようによりますと評価委員会の評価は、大学にとって大変恐ろしいことです。しかし、これが法人化の重要な仕組みであります。本学では、評価会議や評価課を設けて前向きに対応する体制を整えています。大事なことは、私たちちは評価のために教育研究活動を行っているわけではなく教育研究を改善し、質を向上させるために評価があることを忘れてはならないといいう点です。第三者評価機関の適正な評価がなされることを期待します。

平成16年度 熊本大学収入・支出予算の構成



※1 附属病院収入 142億円 (うち19億円は借入金償還対象)	※2 奨学寄付金収入 8億円 産学連携等研究収入 12億円
検定料収入	2億円
入学料収入	8億円
授業料収入	49億円
その他収入	1億円



では、節約と効率化以外に競争的外部資金の獲得を考えざるを得ません。幸い昨年度は、教職員の努力により文部科学省関連の競争的資金のすべて（21世紀COE、特色ある教育プログラム、地域貢献特別支援事業、知的財産創生推進本部支援事業）を獲得できました。これらは、組織としてのもので、科学研究費補助金を含めて

運

常費交付金の形で国から必要な財源措置を受けます。

これは、国立大学の教育研究に対する国責を果たすという意味と、私立大学に比べて授業料等を低く保ち、教育の機会均等を保証することを意味しています。この意味で、本学も当面授業料を値上げする予定はありません。図に示すのが本学の収入と支出の項目別構成です。収入の内、運営費交付金が約4割（38%）を占めていること、自己収入では、病院の収入が70%と大きく、授業料等の収入は24%と意外に低いことが分かります。

支出では、人件費が50%を占めています。人が宝である大学にとって当然かも知れませんが、経営上のポイントであることは明白です。病院の支出も大きく、病院

として決して採算がとれているわけではありません。これは、大学病院が民間の病院では行い得ない高価な機器を用いた高度先進医療や高度地域医療を実施することに加え学生や研修生等の教育機能を備えており、これらを果たすことが使命であるからです。それにもかかわらず、文部科学省は、毎年2%の增收を前提に病院の交付金を算定しています。非常に頭の痛いことですが、大学病院の使命を損なうことなく経営改善に努める必要があります。

その他の運営費交付金についても毎年1%程度の効率化（削減）が求められています。これらの大学予算の削減については、昨年末、国立大学協会や各大学長が文部科学省を通じて、折衝を続けましたが、緊縮の国家財政を背にした

財務省を動かすに至りませんでし。科学技術創造立国、知的財産立国を標榜する我が国として、良い姿であるとは思いませんが、予算を増やす仕組みも皆無ではないので今となつては、与えられた条件で頑張るしかありません。

我々に与えられている教育研究等の活動費は、支出の物件費の中の約36億円のみであり、これを教育経費、研究経費、管理運営費、重点配分経費、学長裁量経費、予備費に区分して学内の予算配分を行います。結果として先生方に配分できる教育研究費も減少しています。また、人件費と物件費の区分は理論上無くなりますので

教育研究の長期性や中長期的展望に立つて柔軟に対応し、日々の改善の努力を継続することが肝要となるがって、物事を拙速に考えず、世界であることは否めません。したがって、物事を拙速に考えず、教育研究の長期性や中長期的展望に立つて柔軟に対応し、日々の改善の努力を継続することが肝要と考えています。熊本大学は、地域として教職員一同意識を変えて

大学、学生本位の運営を行う大学として、世界に発信する個性輝く大学、学生本位の運営を行って努力する所存でありますので、皆様の御理解と暖かい御支援をお願いいたします。

世界となります。しかし、一般的には財源不足を打開する方法として、

く 熊本の地下水が語るものく

環境省の「日本名水百選」にも全国最多の4カ所の水源が選ばれ、日本屈指の水どころとして知られる熊本県。

世界最大級のカルデラを有する阿蘇を水瓶に、豊かな湧水に恵まれた熊本の水事情は、今どうなっているのだろう。熊本大学は、昨年

「熊本大学ON AIR 未来教室2003～水とともに生きる～」と題したテレビ公開講座を地元放送局で放送し、大きな反響を得た。

今回の特集は、そこでも取り上げた熊本の地下水の現状と課題を紹介する。

熊本の地下水は火山の恵み

熊本の水の豊かさを最も顕著に物語るのが、人口約66万人の県庁所在地である熊本市の水道水が、ほぼ100%地下水で賄われているという事実だ。

「現在日本で使用されている水の量は、年間870億トン。その水源は、河川水が760億トン、地下水が110億トン。日本全体では、河川や湖の水を使うのが主流、熊本のように豊富に地下水を使っているのは極めて特異な例です」と、日本の水事情に詳しい元熊本大学工学部環境システム工学科教授の下津昌司工学博士は語る。

では、この豊かな地下水はどこから来るのだろう。ひとつには降水量の多さが挙げられるが、最

も大きな要因は地質にあるようだ。「たとえ降水量が同じ程度でも、水事情は地域によって異なります。地形や地質によって水を貯える能力に差があるためです」。

たとえば九州の球磨川などは、かなりの降水があつても、当日から3~4日以内で川の流量が最大になり海へと流れ込む。しかし、熊本や鹿児島のように、火山噴出物が堆積した土壌を持つ地域では、地面に雨水が浸透しやすいため、川の流量の増え方も緩やかで、土壌に地下水がたっぷりと

貯えられることになる。

熊本の地下水の源は、言うまでもなく世界最

大級のカルデラを有する阿蘇だ。富士山もそうだが、火山の周りにはたくさんの湧水域がある。阿蘇では、かつて大きな湖だった阿蘇のカルデラ内にたくさんの湧水が湧き出ている。そして、それを開む外輪山の裾野にも再び湧水が湧く。その水

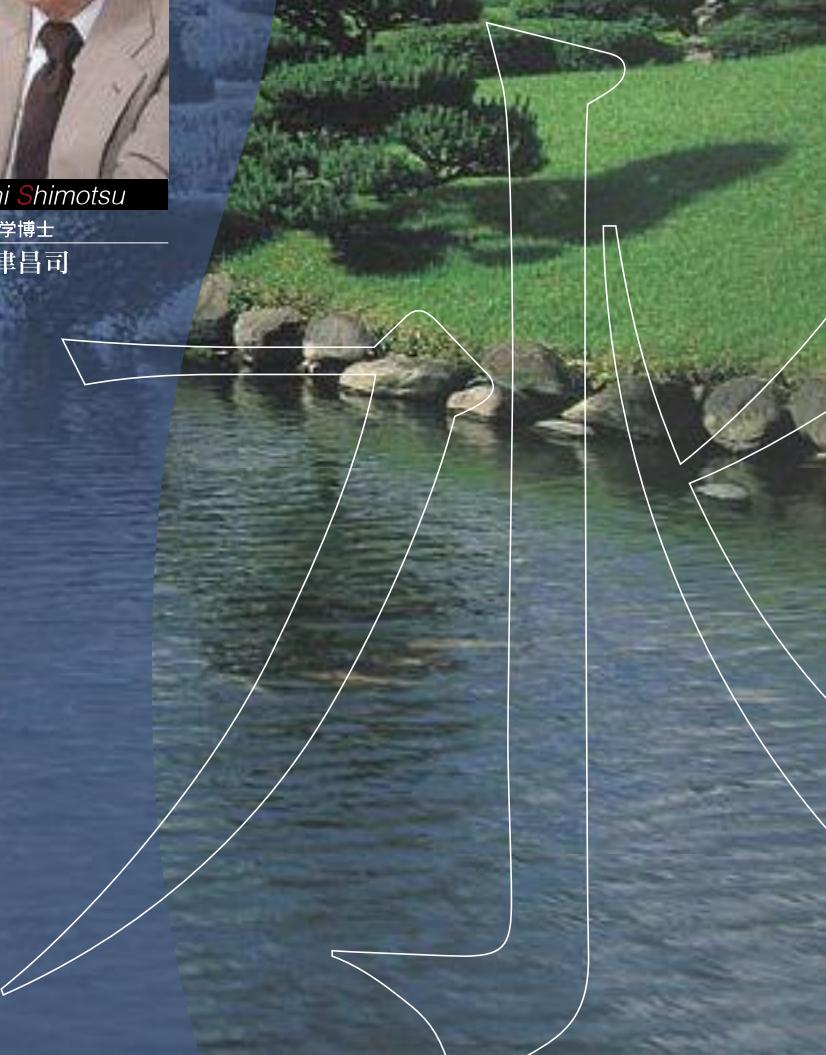
が白川や菊池川、緑川などの川となつて大地を潤し、さらに下流域でも水前寺公園や江津湖の湧水となつて湧き出している。

「つまり、阿蘇の場合、中央火口丘周辺とともに、外輪山の裾野では、自然の降水と水田涵養という人間の営みがダブルで湧水をもたらすという極めて特殊で、水資源的には都合のいい姿になっています」と、下津博士は熊本の豊富な地下水の原理を説明する。



Masashi Shimotsu

工学博士
下津昌司



減少する地下水湧出量

では、その豊かな熊本の地下水はどのように使われているのだろうか。近年の地下水の使用状況を見ると、上水道用水・家庭用水の微増はあるものの、工業用水や農業用水、都市生活用水とともに減少し、ここ十数年の地下水使用量は全体として減少傾向にある。

「工業用水や都市生活用水の減少については、工場や建物で使う水のリサイクル化が進んだため。農業用水については、減反に伴う水田の減少がその要因」と、約20年にわたり熊本の地下水の調査・研究にあたっている理学部水文学研究室の嶋田純教授は分析する。

ところが、地下水使用量が減少しているにもかかわらず、実は地下水の減少が懸念されている。阿蘇からの流れの下流域にある熊本市の湧水地、江津湖や八景水谷公園では、市民の目にも歴然と分かるほど水位が下がってきているのだ。「湧水が目に見えて減り始めたのは十年前から。年間湧水量が約100万トンあったと言われる昭和た」と、嶋田教授は見ている。

実は、この分析を裏付けるような現象が白川の流量にも現れていると下津博士は指摘する。「かつて白川から流れ出る水量は年間7億トンほどでしたが、現在は約9億トンに増加しています。これは、水田に引いていた水が減反により河道を通りて流れていること、また、宅地化などで涵養域が減り、土地に浸透する雨水の量が減ったこと

初期に比べると、現在は約半分に減少していると思われます」と、嶋田教授は現状を語る。

では、なぜ湧水は減っているのだろうか。これについては、熊本市の地下水の有力な供給地域と考えられる白川中流域が注目されている。

このエリアを含む熊本地域東部の変化を見てみると、昭和40年頃に比べて、現在では水田や畑地、林などが極端に減り、代わってビニールハウスや宅地・市街地が大幅に増えている。「つまり、雨水が浸透しやすい田畠や林などの涵養域が減少し、都市化によつて水が浸み込みにくい非涵養域が増加し、その結果地下水が供給されにくくなつた」と、嶋田教授は見ている。

この分析を裏付けるような現象が白川の流量にも現れていると下津博士は指摘する。「かつて白川から流れ出る水量は年間7億トンほどでしたが、現在は約9億トンに増加しています。これは、水田に引いていた水が減反により河道を通りて流れていること、また、宅地化などで涵養域が減り、土地に浸透する雨水の量が減ったこと

が原因と考えられます」。我々人間の営みが、自然環境に影響を与えた一例と博士は語る。

地下水の減少が水質にも影響

水の量と並んで気になるのが、水の質の問題だ。この50年で湧水量が50万トンも減ったとみられる江津湖では、最近ウオーターレタスなどの水生雑草の繁殖が問題になっている。

「これは、江津湖の水に含まれる硝酸性窒素やリンなど植物の成長に必要な養分が過剰になる“富栄養化現象”が原因です」と、工学部環境システム工学科の古川憲治教授は説明する。水に含まれる全窒素濃度を比べてみると、江津湖は、全国的に見ても、汚染されているイメージの強い諏訪湖や霞ヶ浦などよりずっと濃度が高く、国の環境基準の3倍以上にもなっているという。

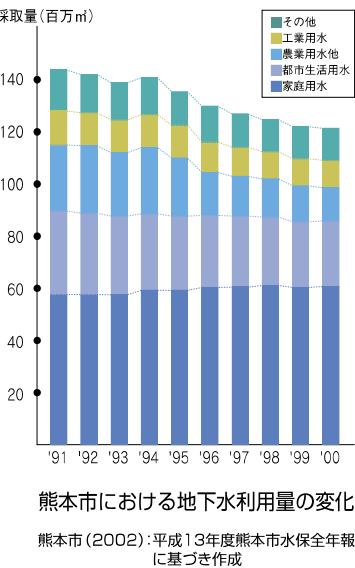
この富栄養化のメカニズムは、こうだ。都市化、減反などで涵養域が減り、江津湖の湧水量が減少しているのに加えて、耕作地土壤に過剰投与された農業用の化学肥料や牧畜産業から出る家畜糞尿などが地表面から降下浸透し、地下水中の硝酸性



Kenji Furukawa

工学部教授

古川憲治



熊本市における地下水利用量の変化
熊本市(2002):平成13年度熊本市水保全年報
に基づき作成

窒素濃度を上昇させているというのだ。

この対策としては三つのことが必要と古川教授は考える。一つは、節水や水の循環利用を促進し、地下水の汲み上げ量をさらに削減すること。二つ目は、地下水の涵養量を増やすこと。これには、涵養林の整備保全や休耕田の利用など雨水浸透量を増やす努力が必要だ。そして、三つ目は耕作地への化学肥料の投入量や畜産の糞尿の浸透量を減らすこと。

かつては、生活廃水が流れ込むことが問題とされた江津湖だが、現在では下水道の完備で、その心配はなくなった。代わりに私たちは、もっと大きな視点で、自分たちの生活と自然との関係を見直すことが求められているようだ。

この農業活動に起因する硝酸性窒素による地下水汚染問題は、熊本だけでなく全国でも発生しており、環境省も数カ所モデル地区を設けて調査に乗組してきている。しかし、現在では予算が削減され各地で縮小している状態。そのため熊本県では独自の予算でその調査と対応を続けているのだという。

また、行政だけでなく、熊本市の周辺に進出した企業にも、自社水田の所有や植林などの地下水涵養事業を行っている企業が出てきている。

これらの現状や課題を踏まえ、行政も積極的な対策に乗り出している。

白川水源

問題は、行政区画を超えた取り組みが必要だ。

熊本県と熊本市は、平成8年3月、熊本地域周辺市町村と共に『熊本地域地下水総合保全管理計画』を策定。熊本地域の地下水を量と質の両面から保全・管理していくための指針を示した。その中では、地下水の涵養機能を担う地域への開発を抑制したり、どうしても開発が必要となる場合は、雨水の浸透性を高める工夫をしたり、緑地をできる限り残すような対策を講じるなどの規制を設けている。

「まだ条例レベルでスタートしたばかりなので成果はあがつていませんが、全国でこれほど大掛かりに、しかも真剣に地下水問題に取り組んでいる自治体はありません」と、鳴田教授は共に調査・研究をすめてきた行政の姿勢を評価する。「しかし、裏を返せば、飲み水のほとんどを地下水に頼っているという事情があるので、それだけ切実な問題でもあるわけです」と、豊かであるがゆえに、それを守る必然性が生じている熊本の地下水事情を語る。

特に、行政区画の中でも最大の地下水消費地である熊本市では、白川中流域低地に小学校が学校田を借り、教育の一環として稻作体験を行い、地下水の涵養にも一役買うといった工夫を凝らしている。



(資料:国土交通省熊本工事事務所 熊本地域水循環研究会)

意識改収のための情報発信を

県、市町村、民間合同の検討会発足など、そのためのプロジェクトが動き始めたところだ。

「地下水問題は、受益者である住民が、問題をつくる側もあるという意味で、住民全体の意識

啓発が必要」と、研究に携わる教授たちは口をそろえる。だからこそ、公開講座をはじめさまざまな機会をとらえては、大学からも情報を広く発信していくことが重要なのだ。

今年の11月には、嶋田教授らが所属する日本地下水学会の主催で、「水質・水量から見た健全な地下水循環を求めて～熊本地域からの発信～」と題した公開シンポジウムが熊本市で開かれる。熊本県、熊本市、熊本大学、水問題に取り組む企業などが参加するこの大会では、熊本の事例を通じて地下水保全を全国へ発信すると同時に、多くの地元住民に参加してもらうことで、地下水問題に一人でも多くの人に目を向けて欲しいと嶋田教授たちは考えている。

「世界的に見ても、太古からごく最近まで、利用可能な水資源と生物による需要は均衡が保たれています。しかし、人口の増加や都市化の進行で、現在では、31カ国で絶対的な水不足が起っています。」と、古川教授は、地球規模での水事情を語る。そのような中で、豊富な地下水を享受する熊本は今、世界的に見ても地下水研究の先進地として、大きな課題に取り組み始めている。

そしてそれは、人の営みと自然とのバランスをいかにとつていくかという、地球上のどこにもある普遍的な問題をもはらんでいる。「自然とどう共存していくか。私達人間は、まだその問題を解決していない。」公開講座での下津博士の言葉どおり、私たちもその答えを探し続けなければ

ならない。

水の問題は、私たち一人一人の生活と密接に関係している。また、全ての生命を育む水は、次の世代へと手渡すべき、未来からの大事な預かりも見つめつつ、現状をしつかりと把握する研究が不可欠であり、そして、大学と地域が一体となつた具体的な取り組みが必要となる。

熊本大学では、今後も学内の研究はもちろん、学外へ向けてもさまざまな形で、水問題についての情報発信と啓発を行っていく計画だ。ふるさと熊本のかけがえのない宝物“地下水”を、いつまでも美しく豊かな姿で守り続けるために。

INFORMATION

熊本大学生涯学習教育研究センターが提供した放送公開講座「みらい教室2003～水とともに生きる」(5回シリーズ、各30分)はインターネットで御覧いただくことができます。

<http://www.lifelong.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学に聞いてみたい!!

～理学科になるといつなるの?～

2004年度からスタートする熊本大学理学部理学科。

今までの理学部6学科から1学科になることで、どのような変化があるのでしょうか?そこで、今回の「聞いてみたいシリーズ」では、県立宇土高校の生徒さん3人と引率者で熊大OBの安武君孝先生が理学部を訪ねました。



Q

吉田 「今おひのの学科から1学科になるといつなりようか? どうな利点があるのですか?」

A

實政 の学科制では、大学入学時に選んだ学科で今後の進む道が決定していました。例えば、化学を勉強したいと思って入学したけど、生物の方が面白そうだなと思ったら、他の科の講座を履修すれば、それぞれの分野に分かれることはある。それが分野に分かれることは、難しかったのです。しかし、ひとつある学科にならじて自由に各学科の講座が受講できるようになり、自分が本当にやりたい分野や適性を見極めるための余裕が生まれると考えられます。

Q

安武 今回、導入される「教育プログラム制」のシステムを教えてください。

A

畠田 新しいシステムでは、入学後の2年間で数学と理科の幅広い基礎知識を身に付け、その後自分で進みたい分野を選択します。このプログラムには、数理科学、物理・化学、地球環境、生物環境の4つがあります。これでは、決められたカリキュラムに従ひこむしかできませんでしたが、各プログラムにあたがる講座の履修やプログラムの変更も可能です。あるいは既製服からオーダーメイドの服に着替えるような学生本位のカリキュラムが実現できると思います。また、3人の学生に対して、1人の相談教員が付くチヨーター制度も導入されるので、プログラムを選択する際には、気軽に相談したり、アドバイスを受けたりすることができるようになります。

理学部

(左) 實政 勲 教授
とみた さねまさ いさお

(右) 畠田 智彦 講師
ともひこ とみた ふた



Q

原口 幅広い分野の知識が浅くなることはないですか?

今回の体験者



1学科になるとどのように変化するのかなと思っていたのですが、先生方のお話でよく分かりました。

熊本県立宇土高等学校 2年生
かみむら まさよ
上村 真世さん



教育プログラム制でいろんな分野が勉強できると聞いて、面白そうだなと思いました。

熊本県立宇土高等学校 2年生
よしだ ゆうき
吉田 祐希さん



理学部のことがよくわかりました。新しいシステムでいろんな分野を学びたいという意欲がわきました。

熊本県立宇土高等学校 2年生
はらぐち こういち
原口 晃一さん



理学科になることで、私が在学中の頃とは全く違うシステムになることにビックリしました。

熊本県立宇土高等学校教諭
やすたけ きみたか
安武 君孝先生



A 實政 自然科学の分野は、各専科の要素が複雑にからみあつてるので問題です。『高じてはすこ野が広い』といふことをイメージしてもらいつと分かりやすいかもしませんね。だからこそ、物理だけではなく、化学や生物、地学など、いろいろな専科の基礎をしっかりと学ぶ姿勢が大切なのです。また、幅広い知識を身に付けることは、新しい発想を生み出す原動力につながります。大学院に進学して、さらに深く専門的に学ぶ時にも、この姿勢がきっと役立つでしょう。

Q 上村 1学科制になつたことで、就職への影響はあるのでしょうか？

實政 企業が求める人材は、自分の専門分野しかできないという人ではなく、いろいろなシチュエーションに対応

することが求められます。幅広い分野を学ぶことができる1学科制のシステムは、就職する時に必ず有利に働くばかりです。また、教員を目指す人にも利点があります。今まで高校教諭免許の数学と理科の両方を取得することは難しかったのですが、新システムでは無理せず2教科の免許取得が可能になります。



じゃある人物です。幅広い分野を学ぶことができる1学科制のシステムは、就職する時に必ず有利に働くばかりです。また、教員を目指す人にも利点があります。今まで高校教諭免許の数学と理科の両方を取得することは難しかったのですが、新システムでは無理せず2教科の免許取得が可能になります。

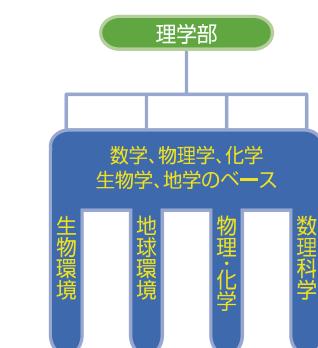
A 吉田 熊大理学部が他の大学には絶対負けないとどう点はどんなところですか？

畠田 学生の人数に対する教官の割合が多いので、一人ひとりの学生を

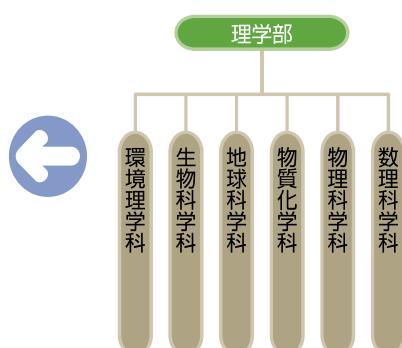
しっかりとケアできるといつこですね。教官と学生の関係が密接なことが特長のひとつだといえます。また、今回の改組で学生の個性や、やる気を尊重するシステムとなつたことももうですね。その他、それぞれの先生が個性的な研究をやっていらっしゃることも面白いところです。

Q 理学部の組織はどうなるの？
A 理学部はこのような組織になります。

2004年度からは
1学部4プログラム制



2003年度までは
1学部6学科制



熊
大
群
像

熊本大学教育学部音楽科教授

吉永 誠吾

日本人の心に響く 和太鼓のリズム

現在、熊本市花園地区を中心として、

和太鼓や竹太鼓で町おこし運動を行っている吉永教授。

祭囃子のような楽しい調べが地域の人々の心をとひき、

その活動は次第に各方面に広まっています。

日本人の心をとひきる太鼓のリズム。

その魅力について語つていただきました。

和太鼓のリズムに惹かれて：

「太鼓のリズムには、日本人の心

を揺さぶる力があります」と話すの

は、花園地区で始まった「花園太鼓」

の発起人で、演奏の指導も行つてい

る吉永教授。町おこしの一環として、

奥様の伯枝さんと「花園太鼓」の発足

を呼びかけたのが昨年の9月。参加

者を募ったところ、花園公民館管内

に住む100人あまりの親子から申し込みがありました。その初舞台が

今年の2月15日、熊本市の花園市民センターで行われたばかり。当日会

場には、心躍るようなリズムの竹太鼓の音が響き渡りました。

吉永教授と和太鼓との出会いは4

年前。熊本大学教育学部附属幼稚園

の園長として在任中の頃でした。保

護者の中にいた和太鼓のベテラン奏

者は、元音楽教師でもある奥様の伯枝さんでした。「マネージメントなど、事務的な仕事を妻が引き受けてくれたおかげで、これまでの活動も

吉永教授は、子育て支援サークルの代表もつとめる伯枝さんの後押しも、事務的な仕事を妻が引き受けたおかげで、これまでの活動もなっていきました。

そんな吉永教授の活動を支えてきたのは、元音楽教師でもある奥様の伯枝さんでした。

伯枝さんは、「マネージメントなど、事務的な仕事を妻が引き受けたおかげで、これまでの活動もなっていきました。



P PROFILE

吉永 誠吾(よしなが・せいご)
熊本大学教育学部音楽科教授。
バイオリニスト。熊本県出身。

円滑に進んできました。また、吉永教授の教室に所属する院生たちの積極的な参加も大きかったそうです。

理屈なしの楽しさが魅力です

「取っ付きにくいクラシックとは違つて、和太鼓や竹太鼓はカラオケを楽しむような気軽さで演奏を楽しめる樂器です。お囃子のリズムや太鼓の響きが理屈なしに人々の心を惹きつけ

るのでしよう。これだけダイレクトに観客の楽しげな反応をみると「なかなかありません」とその魅力を語る吉永教授。

地区の住民の方々もその演奏の素晴らしさに心惹かれ、少しずつ活動に対する理解を示しはじめ、積極的なサポートも見られるようになつてきました。「地域に住むプロのミュージシャンや音大出身者などの人材を

音楽を心で楽しんでほしい



平成16年2月15日、花園市民センターで行われた花園校区まちづくり委員会活動報告会での演奏。

発掘したりして、地域全体を巻き込んで町おこしすることが大切だと考えています。また、和洋を問わず、みなさんに音楽を心で楽しんでもらえることができれば、一番うれしいですね」と、これからも音楽を通した活動で町を活性化したいという意欲に燃えています。



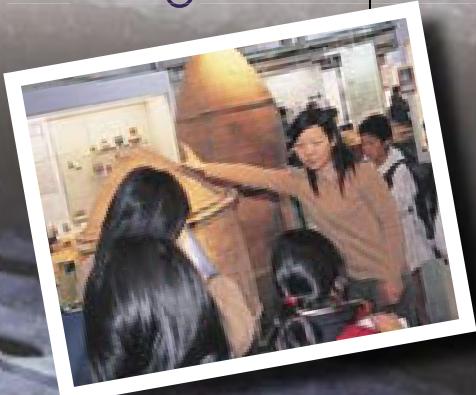
考古学の面白さを 多くの人に伝えたい。

展示会やイベントの企画運営から収蔵品の研究発表まで、何でもこなす熊本市立博物館の学芸員、美濃口紀子さん。子どもの頃から歴史が好きだったという美濃口さんは、たくさんの市民とふれあいながら、自らの足跡も着実に刻んでいます。

シルクロードやエジプトに憧れて

—熊大の考古学コースを選ばれた理由は何ですか？

美濃口 子どもの頃から歴史番組が好きで、シルクロードやエジプトなどに興味があつたんです。今思えば考古学の具体的なことは何も知らず、とてもミーハー的にこの世界に憧れてたんですね。大学でも絶対に歴史がやりたいと思って選びました。



—大学で印象に残っていることは？

美濃口 大学2年の夏、最初に沖縄へ発掘実習に行つた時は、すごく感動しましたね。「城(ぐすく)」から出土した青磁の破片を、宝物のように拾い集めたのを覚えています。

—卒業後は、市の職員としてどんな仕事を手掛けられたのですか。

美濃口 就職1年目は、市の文化課(現文化財課)で、住宅や道路建設などに伴う現場の発掘調査を行いました。これには測量の技術など大学での実習がすぐに役立ちました。その後、博物館へ異動になりました。

考古学ファンの皆さんとまちの歴史を発信！

—博物館の仕事は忙しそうですね。

美濃口 仲間の間では「学芸員は雑芸員」とよく言われます。展示やイベントの企画、製作、運営、何でもやります。会場で流す映像を作つたり、子ども達と縄文時代のクッキングをしたり…。できるだけ考古学を身近に感じてもらえるよう工夫しています。

市民向けの考古学講座でも、机上の空論ではなく、実際に資料を手に取つて学んでもらいます。^(はにわ)埴輪から何が分かれるか、鏡から何が分かるか、資料の見方も、ルールを覚えると楽しみが倍増するんで

す。スポーツ観戦と同じですね。

—今の仕事の面白いところは？

美濃口 幅広い年齢層の方とふれあえることです。一方的に考古学を伝えるというのではなく、こちらも刺激や情報をたくさんもらいます。

特に、講座を卒業した熱心な考古学ファンの方は、新聞、雑誌、現地説明会などあちこちからすごい量の情報を運んで来られます。今年は、その同じ伴う現場の発掘調査を行いました。これは測量の技術など大学での実習がすぐに役立ちました。その後、博物館へ異動になりました。

考古学ファンの皆さんとまちの歴史を発信！

—時間などに、学校の教壇にも立つてほしいと思います。子どもたちも、もし自分のおじいちゃんが教えに来たら「カッコイイ」って思うでしょ。もちろん、博物館に通う子どもたちの中からは、この道に進む人材が育つていってほしいですね。

—後輩へのアドバイスは？

—ご自身で深められている研究はありますか？

美濃口 私の研究テーマは、遺跡から出た瓦です。この博物館には、設立の基となつた山崎正董という方のコレクションがあつて、その中に朝鮮半島から出たすばらしい瓦があるんです。国立博物館でも常設展示されるような第一級の資料なんですが、それが、半世紀も収蔵庫で眠つていたんです。これは、世に出さなければと思い研究を始めました。

美濃口 かつて、熊大の恩師である甲元真之先生に「日常の忙しさに紛れているとすぐに年月が経つてしまう。研究者として年に1本は自分らしいものを書きなさい」と言われたことがあります。ですから、とにかく年に1つは論文らしきものを残すようにしています。

研究者としての足跡も残したい

—展示やイベント以外には、どのような仕事がありますか？

美濃口 実は、皆さんの目にふれない収蔵庫には、展示物の何百倍もの資料があるんです。その膨大な資料の受入、分類、整理、保存、データベース化、貸出なども私たちの大切な仕事です。

—ご自身で深められている研究はありますか？

美濃口 私の研究テーマは、遺跡から出た瓦です。この博物館には、設立の基となつた山崎正董という方のコレクションがあつて、その中に朝鮮半島から出たすばらしい瓦があるんです。国立博物館でも常設展示され



PROFILE
美濃口 紀子(みのぐち・のりこ)
長崎県出身。平成6年3月、熊本大学文学部史学科考古学コース卒業。同年4月熊本市文化課(現文化財課)に就職。翌年、熊本博物館へ異動。学芸員として勤務し現在に至る。趣味は音楽鑑賞。

「八葉複弁蓮花文軒丸瓦」
8世紀頃、統一新羅時代のもの。山崎正董博士古瓦コレクションより。





COSTARICA
国名…コスタリカ共和国
面積…5万1095km²
人口…400万（2001年現在）
首都…サンホセ San Jose
言語…公用語はスペイン語。

母國・コスタリカに 肝移植チームを作りたい！

コスタリカ共和国出身
マヌエル・エンリケ・ゼレドン・ラミレスさん

「中米の花園」と呼ばれるほど、

自然と人々が平和に暮らす

コスタリカから来日中のマヌエルさん。

現在、遠く故郷を離れ、
熊本大学で移植治療の技術を

習得するため日々奮闘中です。



アレナル火山。世界でも有数の活火山。アレナル火山を中心とした一帯は、「アレナル国立公園」に指定されている。

自然豊かなコスタリカより来日

現在、最新の移植治療の技術を学ぶために来日しているマヌエルさんは、熊本大学大学院医学教育部博士課程に大学院生として在籍し、日夜勉強に励んでいます。

そんなマヌエルさんの故郷はカリブ海と太平洋に囲まれた中米の国コスタリカ。無数の美しいビーチを持ち、中央には雄大な火山が連なる山脈が走り、国土の4分の1が国立公園や自然保護区に指定された環境保護の先進国です。国民性はおだやかで、世界で唯一軍隊を持たない非武装

PROFILE

Manuel Enrique Zeledon Ramirez
(マヌエル・エンリケ・ゼレドン・ラミレス)
コスタリカ共和国、サンホセ出身。コスタリカ大学医学部卒業後、文部科学省の国費留学生として2002年10月に来日。



永世中立国としても知られています。

「子どもの頃から人間の体のメカニズムや医学にとても興味がありました」と話すマヌエルさんは、高校卒業後は迷わず医者への道を目指し、コスタリカ大学医学部に進学しました。そんなマヌエルさんが移植治療を目指すきっかけになったのは、インターナシップで訪れた病院でした。そこには、肝臓の病気で入院していた生体肝移植の必要な女の子がいたのですが、当時のコスタリカには移植治療ができる医師はたった1人。国内での肝移植の手術は不可能でした。結局、その女の子は亡くなり、「肝移植ができるドクターがいれば、助けることができたのに」と悲しい現実に直面し、その時、移植のスペシャリストになることを心に誓つたのでした。

移植の勉強に奮闘する毎日

2002年3月にコスタリカ大学医学部を卒業し、同時に医師免許を取得しました。来日前の数ヶ月間は、病院のアルバイトとして内科医を勤

め、2002年の10月に国費留学生として熊本大学にきました。「コスタリカでは、ドラゴンボールやマジンガーZなど、日本のアニメが流行っているから、とても身近に感じていました。日本のイメージは、進歩と

歴史がミックスされたクリエイティブな国というものでした。来日前は、日本はどこも東京みたいだと思っていました。そこには、肝臓いたけど、実際はいっぱい田舎もある普通の国」と感じたそうです。

現在、猪股裕紀洋教授のもとで、小児外科学と移植外科学を勉強中で、ラットを使った移植や、薬物の影響を調べる実験などで忙しい毎日にも、ようやく慣れてきたそうです。熊本には、2007年まで滞在予定。それまでは、実験や研究を重ね、少しでも多くの移植に関する知識を身に付けて帰国したいと考えているそうです。

故郷に肝移植チームを作るため

「他の国と違つて、日本人は外国人の人に関心を示してくれるからうれしいです。それに先生や先輩など、目

上の人に對し敬意を払う日本人の習慣も好きです。とても大切なことだと思いますよ」と、日本での生活に居心地の良さを感じるといいます。

初めて訪れる国を理解するため

に、その国の食べ物にチャレンジするというマヌエルさんは「コスタリカでは豆を甘くして食べないので、初めてあんこを食べた時には驚きました。今では好物のひとつです。他には馬刺しも大好き。でも、いまだに納豆だけは理解できないかな」と笑顔で話します。

マヌエルさんにとって家族は最も大切な存在。故郷に住む両親や兄弟のことが心に浮かばない日はないといいます。「今すぐにでも家族に会いたい気持ちです。でも、日本で学ぶことは、コスタリカに肝移植チームを作りたいという自分の夢を実現するために欠かせないことだから」。家族への思いを胸に、研究に励んでいます。

帰国後は、小児外科の専門医になるための勉強をする予定。「でも、コスタリカのために肝移植のスペシャリストを目指したいと思います。だから、もう一度最新の移植治療を学ぶため、日本を訪れたいです」と将来の展望を語るその眼差しには、熱い思いが込められていました。



マヌエルさんがコスタリカの自宅から撮影した夕暮



姉のマリソルさん(左)と弟のマルコさん(中)に囲まれて(コスタリカの自宅にて)



5/21
金

第2回熊本大学工学部 関西フォーラム

13:00~20:30

基調講演、パネル討論、展示などを行う予定です。
詳細は、決まり次第、工学部ホームページに掲載します。

たくさんの方々の参加をお待ちしています。

- 会場／梅田スカイビル（大阪市）
「梅田スカイビルA、B」（タワーイースト）
- 対象／一般

お問い合わせ

熊本大学工学部
姥原健治
E-mail ebiharai@eeecs.kumamoto-u.ac.jp

5/8
土

～
5/9
日

ガーデニングチェアの 製作

10:00~16:00

木工の初心者を対象に、木の特質や基本的な製作方法について講義と実習を行います。実習ではガーデニングチェアを各自1脚製作します。

- 会場／熊本大学教育学部実習工場・木工室
- 定員／8名程度
- 講師／田口浩継・西本彰文 他
- 受講料／教材費(2,000円)

お問い合わせ

熊本大学教育学部技術教育
西本彰文
TEL 096-342-2654
E-mail wood@educ.kumamoto-u.ac.jp

授業開放

—平成16年度前学期実施中！—

熊大生が日頃受けている授業を、社会人も一緒に受けることができる「授業開放」。

幅広い分野から選べ、優れた内容を手頃な受講料でご利用いただけます。

ただいま、38科目で実施中です。



後学期については、7月以降に募集予定です。

お問い合わせ

熊本大学総務部総務課地域共生戦略室
TEL 096-342-3121 FAX 096-342-3110

入試情報

(平成16年3月23日現在)

■ 大学院入試日程 ■

選抜区分	願書受付期間	試験日
文学研究科(修士課程)社会人特別選抜を含む《第1期・秋季日程》	9月上旬	9月下旬
文学研究科(修士課程)社会人特別選抜を含む《第2期・春季日程》	1月下旬	2月中旬
教育学研究科(修士課程)	8月上旬	9/17(金)
教育学研究科(修士課程)第2次	1月上旬	1/29(土)
法学研究科(修士課程)社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を含む《第1期》	9月上旬	9月下旬
法学研究科(修士課程)社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を含む《第2期》	1月中旬	2月中旬
医学教育部(修士課程)推薦入学	6月下旬~7月上旬	7月上旬
医学教育部(修士課程)《秋季日程》	7月下旬~8月上旬	8月下旬
医学教育部(修士課程)《春季日程》	1月上旬	1月下旬
医学教育部(博士課程)社会人特別選抜を含む《秋季日程》	7月下旬~8月上旬	9月上旬
医学教育部(博士課程)社会人特別選抜を含む《春季日程》	1月上旬	2月中旬
薬学教育部(博士前期課程)推薦入学	6月下旬	7月中旬
薬学教育部(博士前期課程)社会人特別選抜を含む	7月下旬	8月中旬
薬学教育部(博士前期課程)第2次	11月下旬	12月中旬
薬学教育部(博士後期課程)社会人特別選抜を含む	1月下旬	3月上旬
薬学教育部(博士前期課程)10月入学 外国人特別選抜及び社会人特別選抜	7月下旬	8月中旬
薬学教育部(博士後期課程)10月入学 外国人特別選抜及び社会人特別選抜	7月下旬	8月中旬
社会文化科学研究科(博士課程)社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜《秋季日程》	9月下旬	10月中旬
社会文化科学研究科(博士課程)社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜《春季日程》	1月下旬	3月上旬
自然科学研究科(博士前期課程)推薦入学	5/31(月)~6/3(木)	7/3(土)
自然科学研究科(博士前期課程)社会人特別選抜を含む	7月下旬	8/26(木)・27(金)
自然科学研究科(博士前期課程)社会人特別選抜を含む 第2次	1月中旬	1/27(木)・28(金)
自然科学研究科(博士前期課程)外国人留学生特別選抜	2月中旬	2/24(木)・25(金)
自然科学研究科(博士前期課程)学部3年次を対象とする選抜	2月下旬	3/3(木)・4(金)
自然科学研究科(博士後期課程)社会人特別選抜を含む	7月下旬	8/19(木)・20(金)
自然科学研究科(博士後期課程)社会人特別選抜を含む 第2次	1月中旬	2/9(水)・10(木)
自然科学研究科(博士後期課程)10月入学 社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜及び国際子女特別選抜	7月下旬	8/19(木)・20(金)
法科大学院法曹養成研究科	未定	第1次選抜 未定 第2次選抜 未定 法律科目試験 未定

*法科大学院の法律科目試験については、第2次選抜で合格し入学手続きを完了した者のうち、2年短縮コースを希望する者に課します。

■編入学・専攻科・別科入試日程 ■

選抜区分	願書受付期間	試験日
文学部第3年次編入学	10月上旬	11月上旬
法学部第3年次編入学	10月上旬	11月上旬
理学部第3年次編入学(推薦入学を含む)	5/31(月)~6/3(木)	6/19(土)
工学部第3年次編入学(推薦入学)	5/31(月)~6/3(木)	6/11(金)
工学部第3年次編入学(一般選抜)	7/26(月)~30(金)	8/24(火)
特殊教育特別専攻科	2月中旬	3月上旬
養護教諭特別別科	12月上旬	1月中旬

■医療技術短期大学部入試日程 ■

選抜区分	願書受付期間	試験日
助産学特別専攻	12月上旬	1/7(金)

●予定が変更されることもあります。ホームページ等でご確認下さい。

お問い合わせ

熊本大学 学務部 入試課
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号
TEL 096-342-2146 FAX 096-345-1954
E-mail nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp

生涯学習教育研究センターより

お問い合わせ先

熊本大学総務部総務課地域共生戦略室
TEL 096-342-3121 FAX 096-342-3110
E-mail:sos-tiki@jimu.kumamoto-u.ac.jp

公開講座

●平成16年度熊本大学公開講座一覧

講 座 名	受付期間	開講期間	実施会場	募集人員・対象者	講習料	申込方法
陶芸教室	4/15(木)～4/22(木)	5/8(土)～12月まで (原則土曜日開講)	教育学部附属養護学校	30名 市民一般、 障害児 (者)	9,200円 (教材費別途)	A
ハーン(小泉八雲)と漱石を訪ねて	5/6(木)～6/18(金)	6/26(土)～7/24(土)	五高記念館	30名 市民一般	6,200円	A
ワーグナー芸術への招待	7/1(木)～8/27(金)	9/11(土)～12/4(土)	大教センターB-202	20名 大学生、 市民一般	9,200円	A
映画の中に咲いた(華)を尋ねよう	9/1(水)～9/30(木)	10/9(土)～11/13(土)	くまもと県民交流館 パレア	25名 大学生、 市民一般	7,200円	A
リーダーシップ・トレーニングA/B	6/1(火)～7/16(金)	A:7/29(木)、7/30(金)、10/29(金) B:9/2(木)、9/3(金)、12/3(金)	教育学部附属教育実践 総合センター	各30名 組織・集団の指導者	8,200円	A
リナックスによる インターネットサーバの構築	7/1(木)～8/13(金)	8/21(土)～9/18(土)	総合情報基盤センター 実習室 II	40名 市民一般	無料	B
ものづくりサークル	随時受付	4/19(月)～H17/3/7(月) (毎月第2月曜日)	教育学部及び熊本市内の 小学校の理科室等	各回約20名 小・中学校の教諭	無料	C
熊本化学教育サークル	随時受付	4/30(金)～H17/3/25(金) (毎月第4金曜日)	教育学部及び熊本市内の 中学校の理科室等	各回約20名 小・中学校の教諭	無料	C
知的障害児・者のための コンピュータ教室	4/2(金)～4/16(金)	5/15(土)～H17/3/12(土)	教育学部附属養護学校	10名 障害児 (者)	無料 (教材費別途)	A
哲学研究会	3/26(金)～4/30(金)	4/14(水)～H17/3/9(水) (原則第2水曜日)	五高記念館	15名 市民一般	8,200円	A
ドイツの歌とやさしいドイツ語会話	8/23(月)～9/17(金)	10/2(土)～12/4(土)	生涯学習教育研究 センター	15名 市民一般	8,200円	A
算数・数学サロン	随時受付	H17/3/5(土)	教育学部	50名 小・中・高校 生、教師、市民一般	無料	D
ゼミナール 地方自治を巡る諸問題	8/2(月)～9/24(金)	10/2(土)～12/4(土)	生涯学習教育研究 センター	10名 市民一般	6,200円	A
高齢社会総合研究プロジェクト	当日受付	5/13(木)、7/22(木)、9/16(木) 11/13(土)、H17/2/5(土)	熊本大学楷樹会館及び 甲佐町	各100名 市民一般	無料	D
薬用植物観察会	随時受付	4/18(日)～H17/3/13(日) (通常毎月第2日曜日)	薬学教育部附属薬用 植物園・見本園	約20名 市民一般、 学生、薬剤師、教職員	無料	C
第3回 薬用植物を知ろう in 熊本 (阿蘇)	9月～実施日当日まで	10/2(土)、10/3(日)	阿蘇青年の家等	150・100名 市民一般、 学生、薬剤師、教職員	無料	C
家庭介護	8/2(月)～8/27(金)	9/4(土)～9/25(土)	医学部保健学科 看護実習室(401・404)	20名 市民一般	無料	A
数学へのいざない	7/5(月)～7/30(金)	8/2(月)～8/4(水) (予定)	理学部	40名 主に高校生、 市民一般も可	無料	C
物理学への招待	7月下旬予定	夏休み期間の1日	理学部	約30名 高校生	無料	C
海のふしぎ発見!	6/28(月)～7/6(火)	7/10(土)、7/11(日)	合津マリンステーション (上天草市松島町)	各80名 小学生	無料 (隠れ100円)	C
海の生き物を知る ～天草の海の神祕～	6/28(月)～7/6(火)	7/24(土)、7/25(日)	合津マリンステーション (上天草市松島町)	25名 高校生、 市民一般	無料 (宿泊費別途)	C
知のフロンティア講座 (様々なテーマに関する講演会)	随時受付 当日参加可	毎月1回	文・法学部A-3教室	200名 学生、市民一般	無料	D

■申し込み方法

- 開催案内に添付されているハガキ、官製ハガキ、もしくはFAXにて
地域共生戦略室へお申し込み下さい。
- 下記ホームページからお申し込み下さい。
<http://www.lifelong.kumamoto-u.ac.jp/>
- 開催案内に添付されているハガキ、もしくは各講座担当者へ直接お申
し込み下さい。
- お申し込みは不要です。当日、会場へお越し下さい。



詳しくは、開催案内でご確認下
さい。無料配布していますので、
ご希望の方は、地域共生戦略室へ
お問い合わせ下さい。



お薦めの一冊

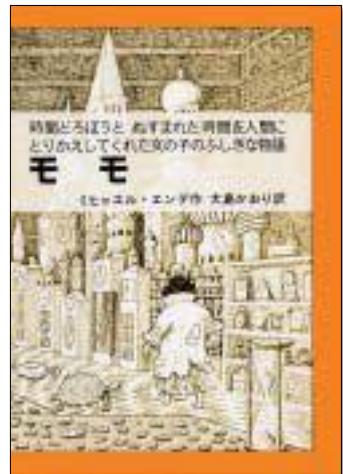
『モモ』

ミヒヤエル・エンデ著(大島かおり訳) 岩波書店、1976年

「時間が無い」「ひまがない」とこぼしておられる方にお薦めの本です。児童文学書となっていますが、大人にも子どもにもかかわる現代社会の大きな問題を取り上げ、その病根を痛烈に批判しつつ、幻想的な童話にしたのが本書です。「モモ」という名の女の子が、時間泥棒に盗まれた時間を人間に取り戻す話です。例えば、時間がたっぷりあったときは、次々湧いてくる空想を話して聞かせていた観光ガイド「ジジ」が登場します。時間泥棒の策略で時間を効率よく使うこと、つまり時間をかけて新しい話の種を考え出すのではなく、これまでの話の種を、うまくやりくりして経済的に使うことを吹き込まれたのです。聞くほうも忙しいものですから、「ジジ」が似たことをしているとは気づかず、新聞やテレビに取り上げられ、有名になります。その結果、ますます忙しくなり、もっと効率化すること、題だけを新しくし、内容もほんの少しを変えただけの話をするようになってしまいます。このような生活を繰り返すうち、人が間らしく生きることを失っていくのですが、「モモ」が時間を取り戻すことによって、元に戻るという話です。わが身を振りかえって、忙しさを理由に、教育は惰性で行っていないか、ほんのちょっぴりの新規性で偉大な研究を行っていると思い込んでいないか、短絡的な社会貢献でおざなりのうちに済ませていないかという反省をさせられます。この童話が書かれたのが30年も前の1973年ですが、あとがきには、「この物語を過去に起こったかのように書いたが、将来起こることと書いてもよかった」と記載されています。童話でも哲学を語ることができるのだという強い思いを起こさせた一書です。



山村 研一 前副学長



東京リエゾンオフィス 開設

キャンパスイノベーションセンター東京リエゾンオフィスの設置について

平成16年4月より
設 置

1. 設置目的

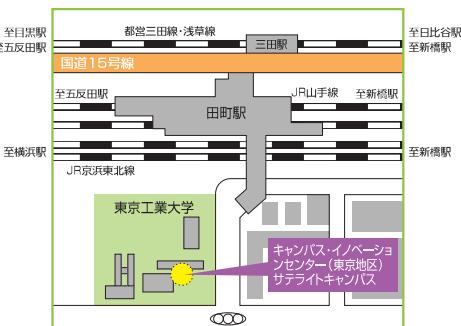
国立大学法人熊本大学リエゾンオフィスは、本学が行う情報の収集・発信、企業との連携、同窓生との交流などを通じ、本学の教育研究の進展及び産学官連携の推進等に資することを目的としています。



▲キャンパスイノベーションセンター（東京）
文部科学省のホームページより

2. 利活用策

- ①関東方面での企業訪問等による産学連携促進及び技術移転活動。
- ②遠隔講義システムを活用し、テレビ会議による技術相談。
- ③本学の研究シーズ等の常設展示等の広報活動。
- ④入学希望者への大学案内、入試情報の周知及び在学生の就職支援等。
- ⑤関東地区の各学部同窓会組織との連携活動。
- ⑥文部科学省及び関東地区にある大学等の情報収集、連絡。
- ⑦卒業後教育等各種セミナーの開催。



所在地：東京都港区芝浦3-3-6
最寄駅：JR山手線・京浜東北線田町駅（徒歩1分）
都営三田線・浅草線三田駅（徒歩5分）

■「やるときには、やります！」力強く聞こえる言葉だ。だが、待てよ。私は元来天邪鬼な性格なので、ふと考へてみた。この文章の組み立てを分類すると前は「要求」、後ろは「行動意識」だ。組み合わせを考えると、1.「やらないときにもやる。」2.「やるときにもやる。」3.「やるときにもやらない。」4.「やらないときにはやらない。」の4つの構文ができる。3.「やるときにもやらない。」と4.「やらないときにはやらない。」はいずれにせよどんな要求があつても何も行動しないことになり、1.「やらないときにもやる。」は要求がなくとも行動し、2.「やるときにもやる。」は要求されて行動することになる。ということは「やるときには、やります！」はごく普通のことのような気がする。「やるときには、やります！」は「私は普通です！」と胸を張って言っていることになる。学生が「やるときには、やります！」と私に言ったときはいつもこう学生に答えていた。「今がやるときだ！だからやりなさい！」大学は平成16年4月から法人になる。大学も今やるときだ。

(編集委員：塚本光夫)

編集委員

教育学部 助教授・塚本光夫
工学部 教授・大野恭秀
医学部保健学科 教授・宇佐美しおり
生涯学習教育 助教授・上野真也
研究センター (部会長)

事務局／総務課広報室
文責／編集部会



表紙／板井 荣雄

熊大通信では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

●宛先●

熊本大学総務部総務課広報室
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号
TEL 0963423119 FAX 0963423110
sokoh@jimukunandotu.ac.jp

新見聞でる熊本大学

1/18 熊本日日新聞

1/23 熊本日日新聞

衝撃波でメッキはがす

3/2 熊本日日新聞

3/16 熊本日日新聞

3/7 熊本日日新聞

熊本大、甲佐町で「高齢者を支える町づくり支援事業」
保健・福祉・住環境…学際ナームが調査研究
5分野統合 政策を提案

サンダー特報

强度3倍マグネシウム合金
次世代の機械部品材料

世界一
熊本大、松下電器と共同開発
プラスチック再利用

熊本市の大学生ら人気フード開業
世代交流の場めぐらし

格安モニタ 家電 家具
卒業生の不用品販売

e-learning講座

熊本大学

熊本大学ではインターネットを利用してどなたでも気軽に利用できるe-learning講座を提供しています。どこからでも、いつでも、何回でも繰り返し受講できるのがe-learning講座の魅力です。あなたのスキルアップのために、また、知的好奇心を満たすために、是非ご利用ください。

インターネット講座

<http://www.lifelong.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学公開講座で過去開催された講座の模様を、動画と資料でご覧いただけます。



5月以降に本サービス開始

(試験運用中)

e-learning station ▶▶▶▶

熊本大学地域貢献特別支援授業の一環として、様々な分野の講座・授業をご提供することを考えています。現在、8つのプログラムを利用し、100名のモニターを募って試験運用中です。いくつでも選択して好きなだけ学習することができ、学習した内容をテストなどで確認することができます。5月以降は、プログラムの入れ替えを含め講座内容をさらに充実させて、本サービスの提供を開始いたしますので、改めて利用者の募集を行います。是非ご利用下さい。

じっくり学べる8つのプログラム

- コンピュータ入門
- オフィスソフトの操作
- ホームページ作成
- コンピューターサイエンス入門
- セキュリティ対策
- INFOSS情報倫理
- コンピュータ入門コース(構造編)
- 統計学入門コース

1 放送公開講座

過去2年間にテレビ放送された「みらい教室2002～暮らしの中の心理と癒し」、「みらい教室2003～水とともに生きる」と、ラジオ公開講座「熊大ON AIR Pack'in Campus」(熊本大学は今)を動画と音声でご覧いただけます。



2 知のフロンティア講座

科学技術の発展や世界の動き、人間や社会のメカニズム解明など最先端の研究を分かりやすくお伝えします。

テーマ

- | | |
|----|--------------------------|
| 1 | 学校の見方を考える |
| 2 | 司法制度の行方～法と社会～ |
| 3 | 脳の機能を知る |
| 4 | 有害物質除去技術の実現化へ向けて |
| 5 | 「がん」の予防と治療の最前線 |
| 6 | 「橋の世界への誘い」～力と形～ |
| 7 | 医療を支える植物～ファイトセラピーへの誘い～ |
| 8 | 世界を変える燃料電池～新しいエネルギーを求めて～ |
| 9 | 地方分権と川辺川ダム問題 |
| 10 | 地球の裏側から夜空教室へ～インターネット天文台～ |